

2018年度（第21期）PHD協会 国内研修生(インターン)募集!!



海外からの研修生とともに学び、
アジア・南太平洋の草の根の人々と共に生きるための活動に関わりませんか？

- POINT**
- ・ 研修期間や日数によって、夏のスタディツアー（ネパール、ミャンマー、インドネシアのいずれか）の航空券が支給されます。
 - ・ 適性により、インドネシア・西スマトラの小学校もしくは幼稚園で日本語教師ボランティアを体験。（最大2名、期間は応相談）
 - ・ 希望者は海外研修生と一緒に東日本・西日本研修旅行への同行ができます。

- 【募集人員】 2名（研修担当・広報啓発担当各1名）
- 【研修地】 原則として当協会事務所。交通費支給（上限有）。海外研修生の研修現場（主に兵庫県内各地）、外部での研修プログラムへの参加もあります。
- 【期間】 2018年4月より2019年3月までの間で、週3日以上10:00～18:00を原則とする。
期間・日数などの詳細は面談の上決定。
- 【説明会】 2月10日（土）10:30～ 2時間ほど予定 場所：PHD協会事務所
- 【選考方法】 一次：書類選考（履歴書・志望動機文） 二次：面接（3月初旬～3月中旬予定）
- 【募集締切】 2月28日（水）必着 ＊但し、募集人数に満たない場合は、追加募集を行います。お問い合わせ下さい。

■ 研修担当の国内研修生

アジアの村から来る研修生と有機農業・地域づくりなどを学びたい！という方

主に海外研修生の研修アシスタントを担当していただきます。研修担当職員の下、研修事務、調整、海外研修生の生活面でのサポートなどから、研修振り返りなどのファシリテートまで関わっていただきます。ネパール（女性）、インドネシア（女性）、ミャンマー（女性）の研修生と密接に関わることができます。また、海外研修生と一緒に農業及び保育の研修に同行することもでき、学びの現場に立ち会えます。



2018年度の海外からの研修生

■ 広報・啓発担当の国内研修生

NGO運營業務に興味がある！海外研修生と一緒に学びたい！という方



広報物の制作やSNSの管理、ボランティア対応、支援者サービスなどの広報・啓発活動を中心に運營業務補佐を担当していただきます。また、海外研修生の研修先へ同行し、広報担当としてその様子を伝えてもらいます。その他、フェアトレード部門（タイの草木染め手織り布など）のサポート業務もお願いする予定です。





夏のスタディツアー（ミャンマー）



神戸の事務所の様子



研修生来日報告会での国内研修生挨拶

国内研修生をやってみて ～第20期、第19期国内研修生より

■ 吉村 美優さん（第20期）

（大学4回生。スタディツアー参加後、研修担当国内研修生に）



海外からの研修生と過ごした日々を振り返ると、彼女たちの日本語の上達や成長ぶりには驚かされることがたくさんありました。日本各地に研修へ行き、帰ってきた研修生は私に学んだことをたくさん教えてくれ、それは私にも新たな角度から日本を捉える新鮮な学びとなりました。また、研修に同行すると多くの支援者の方々と出会うことができ、そこで様々な考え方や生き方に触れることで、視野を広げることができました。国内研修生の活動を通して、これからの自分の生き方や、社会にどう貢献できるのかを考え直す契機となりました。

■ 加藤 志歩さん（第19期）

（大学4回生。スタディツアー参加後、広報・啓発担当国内研修生に）



2015年のPHDスタディツアーに参加し、自分と年齢の近い研修生たちが熱心に村のために活動している姿を見ました。彼らから多くの刺激を受け、その取り組みをもっと知りたいと思い、PHD国内研修生に応募しました。今年一年、海外からの研修生達と過ごしたことで、新しい発見や彼らから学ぶことが多くありました。そしてNGOの運営や、NGOで働くということを間近で体験することができました。PHDはたくさんの思いを持った人々に支えられている団体です。研修指導者の方々やボランティアの皆さんなど、多くの人との出会いが、自分を人間的に成長させてくれます。

担当職員より

■ 研修担当 前田 千春



研修に同行することにより、PHD協会が誇るすばらしい研修指導者の方々とお会いし、その教えや生き方から多くの気づきを得ることができました。また、夏にはPHD協会のスタディツアーに参加し、帰国した研修生たちがそれぞれの国や地域で活躍する姿を見ることもできます。アジアの農村からやってくる研修生たちから私たちが学ぶべきことも山ほどあり、充実した一年になるかと思います。共に当会の研修をより良いものにしましょう。お待ちしております！

■ 広報・啓発担当 八木 純二



PHD国内研修生は、多くの場所に足を運び、様々な人々と出会うことができる経験の宝庫です。広報・啓発担当の研修生には、広報担当として海外研修生の研修先に同行していただきます。また、広報物の制作、SNSの管理や支援者サービスなどの業務を中心に運営全般に関わるので、NGOの仕事とはいかなるものか経験できます。

この一年での出会いと縁が、きっとあなたの次の一歩につながると思います。好奇心旺盛な方を待っています！

PHD協会とは

PHD協会は、ネパールなどで1962年から医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一時的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981年に設立した国際協力の団体です。アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、裁縫、保健衛生といった内容の研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の

人々による村づくりと生活向上に協力しています。今までに、インドネシア、ネパール、ミャンマーなど11カ国から約300名の草の根の人々を受け入れてきました。日本の人々もアジア・南太平洋の人々との交流を通して学ぶことはたくさんあります。そこから、毎日の生活を問い直し、草の根の人々と共に生きることのできる生活を、足元から実践するための活動を続けています。